

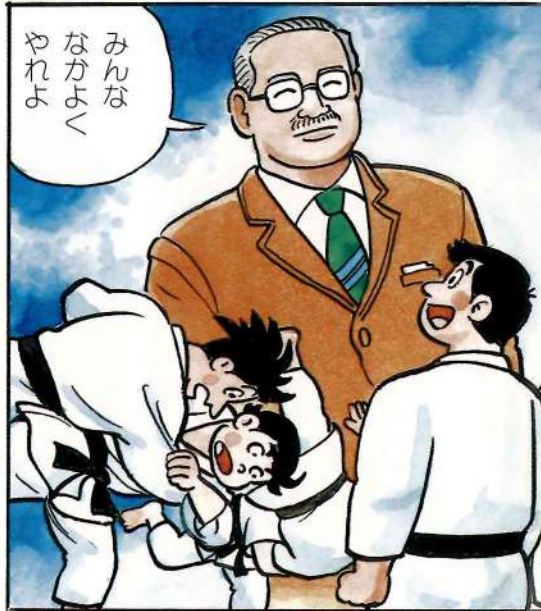
明治43年(1910)～昭和63年(1988)

群馬のスポーツ⑪ "柔らかい手"の巨人

せき ぐち つね 関口恒五郎



生涯を日本柔道界やスポーツ発展につくした関口恒五郎さんは昭和六三年一〇月三日おしまれつ亡くなったんだ



明治43(1910)年7月29日、嘉納治五郎の高弟で群馬柔道の草分け、関口孝五郎翁の2男として前橋市北曲輪町(現、千代田町)で生まれ、6歳の時に父と兄林五郎氏から柔道の手ほどきを受け、前中では得意の跳ね腰で13人抜き、県中学大会優勝を果たしている。東京医専(現、東京医大)でも学校、講道館で汗。卒業後、渋川市に整形外科病院を開業、病院内に弘道館関口道場を再興。地域医療に尽くす一方で、県柔道連盟、体育協会、体操協会、民謡連盟、ダンス協会などの会長を歴任。スポーツを通じて国際交流の道を開き、



日本柔道界

晩年は分裂していた日本の柔道界の一本化につとめたよ

父兄に勝るりっぱな業績ね

柔道家としての活躍は群馬県内にとどまらない全日本大学柔道連盟をひきいて柔道の発展につくすんだ

昭和三年 渋川市の弘道館を再建した

焼けた弘道館を再建したいね

おれたち門弟で募金をしよう

昭和一〇年 太平洋戦争末期の米軍機による前橋空襲だ

この戦火で父孝五郎さんがつくった道場弘道館がやけた

ダンス協会の会長もしてたのね

医師として活躍 昭和二年 軍医として中国大陸にわたるんだ

お兄さんとおなじく 医学の道を進むんだよ

恒五郎さん 学生になつたら柔道をはじめたわ

父孝五郎さんは柔道の父 嘉納治五郎の門下生で柔道がつよかった

兄林五郎さんも柔道をやった 医学の道に進んだんだ

ぼくさんは大きくなつたらなにをやるの?

柔道をやると父ちゃんもお兄ちゃんもやってるからね

関口恒五郎さんは小さいときからガキ大将だった

やきいもあげるよ

からだが大いのにやさしいんだね